

2017年6月映画興行部門興行成績速報

6月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

660スクリーン **興行収入** **4,018,987,870 円** **(前年比 91.3%)**

6月主要稼働作品

『昼顔』『LOGAN／ローガン』『ハクソー・リッジ』『パトリオット・デイ』『ちょっと今から仕事やめてくる』『いつまた、君と ～何日君再来～』『TAP -THE LAST SHOW-』『22年目の告白ー私が犯人ですー』『キング・アーサー』『こどもつかい』『花戦さ』『劇場版 魔法科高校の劣等生 星を呼ぶ少女』『美女と野獣』『ワイルド・スピード I CE BREAK』『帝一の國』『名探偵コナン から紅の恋歌(ラブレター)』『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー:リミックス』『メッセージ』『ピーチガール』『家族はつらいよ2』他

1月から6月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **34,412,842,994 円** **(前年比 114.0%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上